

## 地域安全学会・オンライン研究報告会で研究発表しました（2020/5/23）

テーマ：災害科学、実践的防災学  
場所：オンライン

5月23日(金)及び24日(土)に、鳥取県米子市にて第46回(2020年度)地域安全学会研究発表会(春季)が開催される予定でしたが、昨今の新型コロナウイルス感染症による影響で開催中止となりました。研究発表会への投稿論文については、梗概集への掲載をもって発表が行われたものと見なされますが、将来的な学会の春季・秋季大会等のオンライン対応に向けた技術的課題の調査を目的として、実験的にオンライン研究報告会が試行されました。越村俊一教授(災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野)が共同ホストを、佐藤翔輔准教授(人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野)が座長をつとめました。当研究所からは3編の論文投稿(紙面掲載)があり、うち1編について佐藤翔輔准教授がオンライン発表を行いました。論文の題目等は次の通りです。

### 【一般論文】

- 佐藤翔輔, 岩崎雅宏：  
広島市における被爆体験伝承者・被爆体験証言者養成研修の実態把握：  
災害体験伝承者の養成を見据えて
- 寅屋敷哲也, 丸谷浩明：  
気仙沼市の東日本大震災からの水産加工業の復興過程に関する分析  
-生産工場の立地変化に着目して-
- 森太郎, 定池祐季, 草苺敏夫, 佐藤健：  
Localwiki を利用した防災教育情報のアーカイブ  
-2019年台風19号時の防災行動-

※下線は、当研究所メンバー



発表の様子（オンライン画面のスクリーンショット）

文責：佐藤翔輔（人間・社会対応研究部門）